



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2003.10月号

秋期特別展

## 火星大接近 2003

この夏に、6万年ぶりと言われる大接近を果たし、宵の南の空に赤く輝く火星は、10月に入ってもよく見えています。その火星にスポットをあてた秋期特別展を開催いたします。今回の大接近についての、地球と火星の動きを再現した模型や、人類が抱いてきた火星という星について記されたもの、そして近年明らかにされた興味深い火星の素顔をご覧にいれます。



火星、マリネリス峡谷



錦絵「西郷星の珍説」

会 期：平成 15 年 10 月 4 日（土）～ 11 月 30 日（日）

会 場：平塚市博物館 特別展示室

特別展関連行事

- ・ 講演会：10月11日（土）16時 プラネタリウム室 入場自由  
「火星 NOW 火星隕石からたどる火星の素顔」講師 国立極地研究所 今榮直也氏
- ・ アクアマリン火星コンサート：10月17日（金）18時 プラネタリウム室  
入場無料 16時より1階受付にて入場券をお渡しします。定員 60 名
- ・ 火星を見る会：10月10日・17日・24日・31日・11月7日 19時～21時（雨曇天時中止）参加自由

# 火星展示の見どころ

火星は太陽系第4惑星です。大きさは9つある惑星の7番目、地球のほぼ半分の直径、質量も1/10という小さな惑星です。火星はちょうど月と地球との中間のサイズのため、月の的な要素と地球的な要素がミックスした性質を持っていると言われています。

火星は大気も地球の160分の1程度と大変薄く、気温も-120度から0度と変化が激しいのですが、過去にもっと温暖な時期があって、海や水が流れる環境があったかもしれない、という希望も抱かせてくれるような、地形が残されています。火星の進化の歴史をひもとき、いま明らかにされてきた火星を眺めてみましょう。

## 主な展示物

### 地球と火星の軌道

火星は地球のすぐ外側をまわっています。その地球と火星が軌道上をどのように動いて、今回の大接近となったか、大形の模型でわかりやすく解説します。

### 火星の地形図と火星儀

アメリカの火星探査機マーズ・グローバルサーベイヤーが計測した標高データをもとに作成した地図で、火星表面の地形が克明に記録されています。30枚に及ぶ地形図と、それをもとに作成した火星儀を展示してあります。また、アメリカ、地質調査所がバイキング探査機の観測から作成した地質図は、火星が天文学の世界から地質学的な研究対象になったことを示しています。

### 火星いん石

火星から飛んできたと思われるいん石が地球上で見つかっています。火星いん石と呼ばれ、火星に大きいいん石が衝突し、火星の岩石が宇宙空間に飛び出して地球に到達したもの、と考えられています。生命の星・地球博物館所蔵のものと、日本の南極いん石調査隊が発見・収集した火星いん石を展示しています。また、大変珍しい月から飛んできたいん石も展示しています。

### 火星の立体地形模型

博物館天体観察会のメンバーが製作した、火星の地形模型です。火星の西半球と東半球それぞれの等高線地形図から製作したものです。火星の火山や峡谷、大きな盆地など、それぞれ特徴的な地形を理解することができます。

### 西郷星の錦絵

火星表面の運河の観測から火星人論争が華やかだった19世紀末、日本では西南戦争で敗軍の将となり自害した西郷隆盛が火星の中に見えた、といううわさから、大接近中の火星を西郷星と呼んだと言われています。その当時の錦絵を展示しています。



火星の立体地形模型



火星のいん石

# プラネタリウム「火星を見よう」

8月末に火星が大接近しました。今回の接近は、まれに見る大接近、として話題になりました。星空の中にかぶ火星の動きや、望遠鏡で見る火星の模様の見え方、極冠の変化などをお話します。また、最新の火星の地形、気象など、探査機が集めたいろいろな火星のことを、たくさんの映像を交えて解説します。

投影日：土・日曜日の11時と14時 10月26日（日）まで

寄贈品コーナー 10月31日まで

## 「のぞいてみよう！大昔のくらし～万田貝塚～」の紹介

今年も9月10日～18日に18大学19名の大学生が博物館実習生として館の仕事を体験していきました。ガイダンス、資料整理、漂着物を拾う会の参加などを経て、後半三日間に実習の集大成である展示制作を行いました。今回、実習生に提示した資料は、今年8月に平塚市在住の山崎実氏から寄贈されたばかりの万田貝塚遺跡出土品です。山崎氏のコレクションは膨大な量にのぼり、たいへん貴重な資料も含まれています。これを展示するにあたり、実習生へ「小学4年生でも理解できる展示」を作るよう指示を出しました。議論を重ね、試行錯誤を繰り返し完成した展示は、随所に子供たちを意識したアイデアがちりばめられています。以下に、実習生の創意工夫のいくつかを紹介しましょう。

**絵心いっぱい** 美術専攻の女子大生が例年より多かったせいか、全体にカラフルな感じで、うまくレイアウトされています。とくに目立つのは、ケース内壁面に貼った模造紙四枚分の大きな絵です。海で網をたぐる場面と森で鹿を射る場面が中央の大木でうまく仕切られています。遠くからお客さんを惹き付ける効果も充分にありそうです。また、解説文の内容が絵解きになっているのも面白く、子供を意識して「モンタ」なる縄文の子供を登場させ、モンタが両親の仕事を紹介する形で説明しています。惜しむらくはモンタ君のキャラクターデザインがあればさらに良かったのでは。全体に、絵と解説文、展示資料がうまく結びついて相乗効果を出しています。模様の付け方 縄文土器の模様は、様々な道具で描かれています。縄、爪、割竹、竹串、貝殻などです。どんな道具で描かれた模様なのかを分かりやすく展示してあります。

**クイズと体験コーナー** 一見用途不明の骨や石を並べて、何に使うか当ててもらおうクイズコーナーを設けました。まず、モノをじっくり観察して、想像力を働かせ、回答を得るために展示を観る。そんな意図から導入にクイズを設けました。また、体験コーナーではブラックボックスに手を入れて土器などに触れられる仕組みを作りました。

じつは、子供にも分かる展示を作るのは難しいことです。今回の展示では、絵やタイトル文字で子供たちを惹き付け、情報量は絞り込み、資料の使い方を絵や見せ方でわかりやすく伝える工夫が施されています。博物館によく寄せられる「字が小さい」「説明が無い」「難しい」といったご批判を今回に限っては受けずに済むだろうと思います。ぜひ一度ご覧ください。



# 博物館カレンダー

## 2003年10月の行事

## 2003年11月の行事

10	1	水	平塚社寺調査会	野 外
10	2	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
10	3	金	古文書講読会	講 堂
10	4	土	☆ 秋期特別展「火星大接近 2003」(～11月30日) 民俗探訪会「豊田八幡宮祭礼」 地質調査会 ○ 考古学入門講座「相模川流域」	特展室 豊 田 講 堂 科学室
10	5	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野 外
10	9	木	湘南コケの会 石仏を調べる会	野 外 特研究室
10	10	金	◎ 火星を見る会 天体観察会 古文書講読会	屋上 講 堂
10	11	土	◎ 特別展講演会 天体観察会 ◎ 漂着物を拾う会	プラネ 屋上 虹ヶ浜
10	12	日	古代遺跡を探す会	野 外
10	15	水	裏打ちの会	科学室
10	16	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
10	17	金	◎ 火星コンサート ◎ 火星を見る会 天体観察会 古文書講読会	プラネ 屋上 講 堂
10	18	土	○ 考古学入門講座「相模川流域」 相模川の生い立ちを探る会	講堂 湯河原町
10	19	日	◎ ろばた話の会	展示室
10	23	木	植物誌調査会 石仏を調べる会	野 外 特研究室
10	24	金	◎ 火星を見る会 天体観察会 古文書講読会	屋上 講 堂
10	25	土	○ 自然の新聞を作る会 民具に親しむ会 空襲と戦災を記録する会	野 外 科学室 特研究室
10	26	日	地質調査会	清川村
10	31	金	◎ 火星を見る会 天体観察会	屋上

11	1	土	☆ プラネタリウム「フリートーク」(～30日) 民俗探訪会「道祖神探訪」 ☆ 寄贈品コーナー「丹沢の岩石」(～30日)	プラネ 綾瀬市 展示室
11	2	日	古代遺跡を探す会	野 外
11	5	水	平塚社寺調査会	特研究室
11	6	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
11	7	金	◎ 火星を見る会 天体観察会 古文書講読会	屋 上 屋 上 講 堂
11	8	土	○ 考古学入門講座「相模川流域」 ◎ 漂着物を拾う会 地質調査会	講 堂 虹ヶ浜 清川村
11	9	日	水辺の楽校生きもの調べの会 古代遺跡を探す会	野 外 野 外
11	12	水	○ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
11	13	木	湘南コケの会	野 外
11	14	金	天体観察会 古文書講読会	屋 上 講 堂
11	15	土	民具に親しむ会	科学室
11	16	日	◎ ろばた話の会 相模川の生い立ちを探る会	展示室 伊東市
11	19	水	○ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会 裏打ちの会	プラネ 科学室
11	20	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
11	21	金	古文書講読会	講 堂
11	22	土	○ 考古学入門講座「相模川流域」 空襲と戦災を記録する会 地質調査会	講 堂 特研究室 科学室
11	27	木	石仏を調べる会 植物誌調査会	特研究室 野 外
11	28	金	古文書講読会	講 堂

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料) ○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

### <展示とプラネタリウム>

☆秋期特別展 「火星大接近 2003」  
6万年ぶりといわれる大接近が話題となりました。その素顔は、地球とのちがいは、など惑星火星について展示します。  
会 期：10月4日(土)～11月30日(日)  
会 場：特別展示室  
○関連事業  
・講演会 火星 NOW 火星隕石からたどる火星の素顔  
国立極地研究所 今泉直也氏  
日 時：10月11日(土) 16時～18時  
会 場：プラネタリウム室 参 加：自由  
・アクアマリン火星コンサート  
日 時：10月17日(金) 18時～19時  
会 場：プラネタリウム室 入場無料  
16時から入場券を受付にて配布します。  
◎火星を見る会  
大接近の火星を望遠鏡で観察します。  
期 日：10月10日(金)・17日(金)・24日(金)・31日(金)  
時 間：19時～20時30分  
場 所：博物館科学教室・屋上 参 加：自由

☆プラネタリウム 「火星を見よう」  
火星大接近の状況と星空の中にかがむ火星の動きや、望遠鏡で見る火星の模様の見え方、極冠の変化などをお話します。  
投影日：土・日曜日の11時と14時  
期間：10月26日(日)まで

☆寄贈品コーナー実習生展示  
会 期：9月18日(木)～10月30日(木)

### <参加者募集>

◎考古学入門講座「相模川流域」  
期 日：10月4日、18日、11月8日、22日の各土曜日  
時 間：14時～16時  
会 場：博物館講堂 参 加：自由  
◎漂着物を拾う会  
海岸に流れ着いた物から来歴を推理したり自然環境を考えます。  
日 時：10月11日(土)9時30分～11時  
場 所：平塚虹ヶ浜海岸  
参 加：自由(ただし、初めてのの方は往復はがきで申し込むこと)  
◎ろばた話の会  
民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。  
日 時：10月19日(日)(1)13時20分～(2)15時～  
場 所：展示室民家 参 加：自由  
○自然の新聞を作る会「吉沢」  
日 時：10月25日(土)  
場 所：市内吉沢  
申 込：往復はがきで10月15日までに申し込む

あなたと博物館 29巻 8号 通算323号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>